

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	土木建築部河川課
評価対象期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日

1 指定概要

施設概要	名称	大分県リバーパーク犬飼	施設種別	レクリエーション・スポーツ
	所在地	豊後大野市犬飼町田原字舞田		
	設置目的	大野川の優れた景観を生かし、スポーツ及びレクリエーションの場を提供することにより、県民の健康で文化的な生活の向上を図る		
指定管理者	名称	Goap株式会社		
	代表者名	代表取締役 伊東 志郎		
	所在地	大分市大字中尾1111番地の4		
指定管理業務の内容	①大分県リバーパーク犬飼の多目的グラウンド、艇庫、シャワー室その他の施設及び設備の利用に関すること。 ②①のほか、リバーパーク犬飼の目的を達成するために必要な作業。			
料金制度	利用料金 ・ 使用料 ・ 該当なし			
指定期間	令和2年4月1日～令和5年3月31日(3年間)			

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント	
1	施設の設置目的の達成(有効性の向上)に関する取組み
(1)	施設の設置目的の達成
	①計画に則って施設の管理運営(指定管理業務)が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか(目標を達成できたか)。
	②施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。
	③複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。
	④施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。
	【所見】
	○ リバーパーク犬飼は、県が整備した多目的グラウンドとカヌー艇庫、豊後大野市が整備した広場、ログハウス、テニスコート等をGoap株式会社が一括管理することで効率的・効果的な運営を図っている。
	○ 多目的グラウンドの利用者数は令和2年度14,225人と目標指数9,600を上回った。これは例年、芝の養生期間として多目的グラウンドの使用を休止していた梅雨の時期を芝の状態を見ながら使用可能にしたために稼働率が上がったこと、また新型コロナウイルスの影響でメイングラウンドの使用が出来なくなった大分高校、大分中学校の利用者が増加したことほか、WEB予約システム、クレジット、電子マネー決済を導入し利用者の利便性が向上した成果が出ているものと考えられる。
	○ 多目的グラウンドではクラブチームや県内の高校、中学校のサッカー部が継続的に利用している。また、カヌー艇庫については、大分県カヌー協会の会員の利用が主となっている。
	○ コロナ禍という事もあり、大規模なイベントは自粛したが、代表の経営するアウトドアショップとのコラボなどでテレビのローカル番組などで多く取り上げられた。(テレビ、雑誌、新聞等)

<p>(2) 利用者の満足度</p>
<p>① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。</p>
<p>② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。</p>
<p>③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。</p>
<p>④ 利用者への情報提供が十分になされたか。</p>
<p>⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。</p>
<p>【所見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 令和3年1月10日～令和3年3月31日にかけて多目的グラウンド及びカヌー艇庫の利用者にアンケート用紙の配布を行ったほか、QRコードやホームページにリンクを貼りWEBアンケートを実施した。アンケート回収総数は多目的グラウンド71件、カヌー艇庫42件の合計114件であり、令和2年度は満足度について58%が満足以上で普通が31%と一定以上の評価を受けている。また、自動販売機の設置要望が多かったが令和3年4月にグラウンド近くの市道脇に設置し対応済。 ○ 利用者からの意見、要望については随時受け付けている。 ○ ホームページで随時情報提供を行っているほか、Q&Aや問合せフォーム等を設けている。
<p>2 効率性の向上等に関する取組み</p>
<p>(1) 経費の低減等</p>
<p>① 施設の管理運営(指定管理業務)に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。</p>
<p>② 清掃、警備、設備の保守点検等の業務について再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。</p>
<p>③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。</p>
<p>【所見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本施設の収入は、県からの委託料と施設の利用料金で構成される。令和2年度の委託料は8,791千円、利用料金収入は3,167千円、で合計11,958千円となっている。支出では、芝の維持管理費等に7,016千円、人件費1,861千円、合計8,877千円となっており、予算の範囲内で施設の運営経費を賅っている。 ○ カヌー艇庫については、大分県カヌー協会に再委託をしており、カヌー艇庫の収入の範囲内で経費を賅っている。 ○ 芝管理の専門業者に意見を聞きながら多目的グラウンドの管理を行った。また、芝刈りや水撒き等対応可能な部分は自前で管理を行っており、経費の削減にも取り組んでいる。
<p>(2) 収入の増加</p>
<p>① 収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。</p>
<p>【所見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 多目的グラウンドでWEB予約を導入し、営業時間外であっても24時間予約可能となった。また、クレジット決済を導入し利用者の利便性向上に努めた結果、多目的グラウンドの利用者数は目標の9,600人を上回り14,225人となった。

3 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組み

(1) 施設の管理運営(指定管理業務)の実施状況

- ①施設の管理運営(指定管理業務)にあたる人員の配置が合理的であったか。
- ②職員の資質・能力向上を図る取組みがなされたか。
- ③地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。

【所見】

- 「大分県リバーパーク犬飼の管理に関する基本協定書」及び「大分県リバーパーク犬飼の管理に関する年度協定書」の内容に沿いながら、適宜工夫を取入れ、適正な管理・運営が行われている。
- 柔軟なスタッフの配置により、安全管理に努めている。また、スタッフと県の担当が定期的に意見交換を行うなど、情報共有がなされている。
- 施設内の清掃業務や宿直業務を「豊肥地域シルバー人材センター」に委託しており、地域の雇用創出に貢献している。

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

- ①関係法令(地方自治法、労働関係法令、通則条例、設置条例等)が遵守されているか。
- ②施設の利用者の個人情報保護するための対策が適切に実施されているか。
- ③利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。
- ④施設の管理運営(指定管理業務)に係る収支の内容に不適切な点はないか。
- ⑤管理物件の修繕や日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。
- ⑥防犯や事故等の危機管理体制、防災士の配置など、防災に係る体制が適切であったか。
- ⑦防災に関する研修・訓練が効果的に実施されていたか。
- ⑧事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。

【所見】

- 施設の利用受付については、施設管理条例及び関連規定等を遵守し、利用目的を確認し、公平・平等な取扱いを行っている。
- 緊急時対策、防犯・防止対策については、マニュアルを作成し、適切な対応ができるよう職員の指導・教育がなされているが、利用者を含んだ避難訓練は実施していない。
- 隣接している大野川の安全に利用できる箇所を記載した「水遊びマップ」を作成するなど、利用者の安全面にも考慮しながら適切な管理を行っている。

【総合評価】

【所見】

- 令和2年度からGoap株式会社が指定管理者となり、多目的グラウンドの利用者目標を達成した。利用者数が増加した背景には、例年、芝の養生期間として多目的グラウンドの使用を休止していた梅雨の時期を芝の状態を見ながら使用可能にしたために稼働率が上がったことのほか、WEB予約システムやクレジット決済の導入など利便性の向上が要因にあると思われる。
- 令和2年度は芝の管理を専門業者に再委託した結果、例年も設けていた芝の養生期間を設けずに1年間多目的グラウンドを使用することができた。今後も専門業者の意見を聞きながら多目的グラウンドの利用スケジュールを管理していくことが必要であると思われる。

【今後の対応】

- 令和2年度からはGoap株式会社が県と豊後大野市の施設を運営している。今後さらに両施設の一体的利活用を推進するとともに、効果的・効率的で利用満足度の高いサービスが提供できるように、民間指定管理者、県、豊後大野市等の関係団体が協力していく。